

## 地域の方とのつながり 令和6年度三谷地区文化祭出店



「障害者を知ってもらおう」「自閉症を知ってもらおう」「ウインドヒルを知ってもらおう」利用者様が社会参加をしていく上で、作品を通して発信していく主旨の元、毎年利用者様の作品を出店させて頂いて、今年は日中のレクリエーション活動の中で作成しました絵画や創作折り紙を展示しました。

### ポム・ド・パンの理念

- ・障害があっても、誰からも愛される人に成長できるように、丁寧に寄り添って関わります。
- ・障害があっても、正しいことを根気よく伝えることにより、何歳になっても成長することを信じます。
- ・障害があっても、できることが増えるように、様々なことを獲得できるように、一貫性をもって、継続して支援します。
- ・障害があっても、その方の得意なことを、大好きなことを見つけ、これを通して、生活基盤を作ります。

令和6年10月12日(土)

# 三谷地区秋祭り 通谷地区より獅子舞奉納



## 三谷町通谷地区 5年ぶりの獅子舞復活

三谷八幡宮秋季例祭に先立ち、獅子舞が来所してくれました。獅子舞は悪魔祓い、豊作祈願など人々の暮らしに安寧をもたらすことを目的としたもので、毎年秋になると多くの収穫祭＝秋のお祭りで目にします。ウインドヒルにも多くの収穫があると嬉しいです。開所以来、当法人は地域の方との交流を大切にし、積極的に地域の行事には参加させていただき、地域交流を図っています。そのご縁でコロナ禍になる前は毎年来ていただいていたのですが、感染拡大防止の為此数年は中止せざるを得ませんでした。新型コロナも第5類に分離され、通常の社会生活に戻っている今年度は5年ぶりに獅子舞の面場使いが復活しました。10月12日(土)朝10時より、北玄関前駐車場で、祭りのはっぴを着た男性が威勢よく鐘を叩き色鮮やかな油単の獅子舞が行われました。獅子の周りを華を添えるように曲打の女の子が踊ってくれ、久しぶりの獅子舞と隣接する山にこだまするように鳴る甲高い鐘の音に、見ていた利用者様も興奮が抑えきれない様子でした。やはりお祭りには獅子舞は欠かせないと感じた時間でした。



\*\*\*\*\*

# 福祉協会体育祭り 令和6年10月16日(火)



少し涼しくなってきた10月の中旬に福祉協会体育祭りに参加しました。私の中ですごく印象に残っているのが準備体操時、ステージにスポーツ委員の方が出てくれてお手本として体操をしてくれ、それを見て、利用者様達が体操をすることがありました。利用者様は、とても上手にスポーツ委員の方の動きを模倣することができていました。このシーンを見て、本当にすばらしく私は感動しました。日頃、フレッシュクラブ等で先生を見て動いていることの積み重ねだと思いました。また、パンくい競争や玉入れも一人ひとりが十分に楽しめていて、本当に参加して良かったと思いました。プログラムのにもゆったりとしている行事だったので、ゆとりを持って楽しむことができていました。

パン食い競争では順番まで待ち時間がありましたが、ミニパンを眼の前にしてぞわぞわ。しかし列を乱すことなく、いざ順番が来ると口ではなく手でGET。お弁当の後、食後のデザートとして食べました。

利用者様、職員みな甘い物には目がなく別腹でした。

午後からのひっくり返し競争・玉入れも頑張りました。準備の間は、定位置に座って静かに待つこともでき常日頃の成果が実っていると思います楽しい一日を過ごすことが出来たこと間違いなし。

生活支援員 太田 達也

生活支援員 尾崎由美子

## お楽しみ運動会

令和6年8月1日(木)



8月1日地域交流棟でお楽しみ運動会を開催しました。運動会の前には皆でかき氷を食べました。シロップは利用者様に選んでもらいシロップの色、味、好みがわかり新しい発見がありました。かき氷のおかわりが絶えず続いていました。利用者様がかき氷を食べている光景が目には焼き付いています。運動会では玉入れとバランスボールリレーをしました。玉入れでは投げることの楽しさ、ねらったカゴに入った時の喜び、体を動かすことの満足感を味わうことができました。職員は利用者様が玉を投げるときに下に投げるのではなく、カゴに向かって上に投げ、高く遠くへ投げるよう声をかけ寄り添い応援しながら一緒に楽しみました。バランスボールリレーでは大きなボールをドリブル（ボールをつく）し次の利用者様へボールを渡す一連の流れも利用者様はできるようになりました。ボールをつく事もできなかった利用者様も職員が利用者様の後ろに立ち一緒にボールをつく事を何度も繰り返し関わって来たことでできるようになりました。

競技を行う動作一つひとつは利用者様の楽しみを増やすと同時に成長にも繋がると思いました。その上、職員も利用者様の成長を実感し楽しい時間を過ごしました。

主任生活支援員 松田 仁美

せみの鳴き声が聞こえ、まぶしい日差しがふりそそぐ夏の日にお楽しみ運動会をしました。交流棟内での開催でしたが、室内でも暑かったため、かき氷も一緒に作りました。利用者様達は、とてもおいしそうに食べていました。なかには、おかわりをする人もいました。運動会の競技ではドリブルリレーがとても盛り上がりました。ユニット同士で競い合い、共に汗を流し体を動かすことを楽しみました。かき氷を食べる時の静の動きと運動会での動の動きを利用者様達と一緒に経験できて、待つ、座る、話を聞くことができるみなさんがとてもすばらしく感じられました。

生活支援員 太田 達也

## 七夕お楽しみ会

令和6年7月3日(水)



7月3日(水) 今回の七夕お楽しみ会は「多機能型事業所 CROSS (くろす)」様の職員と利用者様をお招きしました。6月の夏祭りの時に大好評で何人ものおかわりの行列が出来た「かき氷」をみんなで食べました。前回とは違うかき氷機を手配し、氷の数も増やし、利用者様が沢山おかわりが出来るように準備致しました。またシロップの種類も多く揃えました。この日は天気にも恵まれ、最高気温が34.5℃でまだ本格的な暑さではありませんでしたが、外の少し暑い風を感じながら冷たいかき氷を食べるにはちょうどいい気候でした。利用者様は待ちかねたように器に盛った氷を持って、思い思いのシロップを掛け、美味しそうに口に運んでる光景を見るとこちら迄嬉しくなってきます。

CROSSの皆様も利用者様と一緒にシロップの列に並んで、好きなシロップを掛けて、座って美味しそうに食べている姿



を見ると、交流の機会を嬉しく思いました。かき氷を十分食べた後は、この日の為に準備した願いを書いた短冊を読んでもらい、笹の木に吊るしました。

今後も他の施設の方と交流を深めて、このようなイベントができればと思う一日でした。

## パイロットクラブ読み聞かせ

令和6年9月4日(水)

### ウインドヒルでのブレインマインダーズの活動

ブレインマインダーズとは脳を大切に！が目的ですが、脳関連障害を持った方にとって脳の活性化！も目的となっています。

ウインドヒル様の訪問が、4回目となりますが、少しずつお話を聞いてくださるようになりました。

今回うれしかったことは、受け身でなく読み聞かせに参加してくれたことです。ハローソングでは、振り付けしながら踊ったり、英語での絵カードでは、声を出すまではいかなかったですが、彼らの目が必死に絵をおっていました。

縦に長い大型絵本の「ぬまの100かいたてのいえ」では、読み聞かせが終わった後、絵本に興味を持ってくれ絵本を近くで見ようと集まってきてくれました。

彼らが何に興味を持ってくれるかということ、少しでも発語が出るように、また、楽しい読み聞かせになるように、これからも努力をしていきたいと思えます。

高松パイロットクラブ 森田 京子



読み聞かせありがとうございました。

## 門入ダム遠足

令和6年10月30日

10月30日、門入ダムへ遠足に行きました。療育活動のバス外出とは違うコースを散策しました。違うコースは多く自然に囲まれたコースです。歩くことの楽しみで心が弾みました。門入ダムを散策中、想像していた以上にダムが広くて驚きました。すれ違う方々に利用者様から「こんにちは」と大きな声で挨拶をする光景はとても嬉しくなりました。

散策されている方々も多く人々の憩いの場所になっていると思いました。散策、お茶休けい、トイレ休けい、写真撮影の時、一般の方々に迷惑をかけていないことは素晴らしい事であり、利用者様の成長の結果であると思いました。

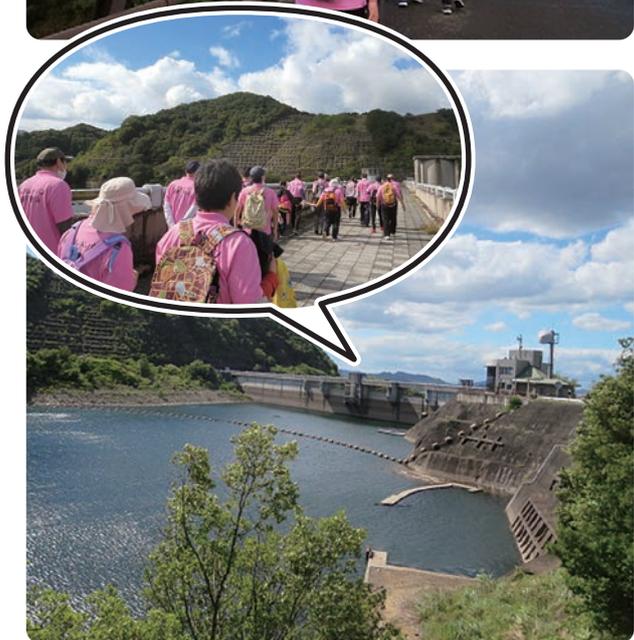
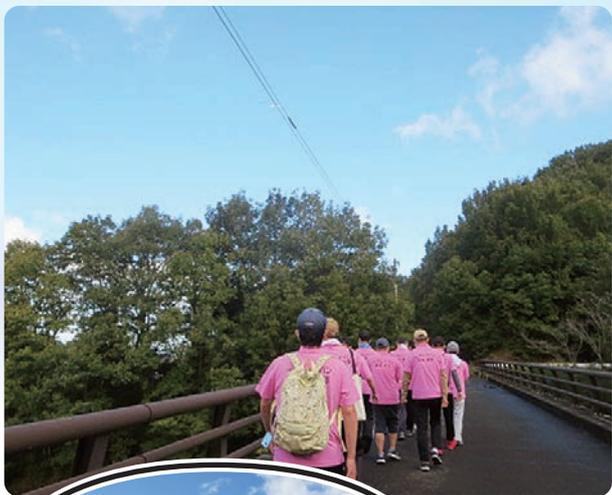
主任生活支援員 松田 仁美

温暖化の影響もあってか、紅葉にはまだ早かったようですが歩くのに丁度良い季節でした。ダムのまわりを歩いて散策して写真もいっぱい撮りましたがなかなかポーズが決まらず苦労しました。途中車が何台か通りましたが、職員が「車が来ています。左に寄って下さい。」と伝えると利用者様は左側に寄って歩くのを止めてじっと立って待つ事ができていました。これまで色々とお外出の機会をもって学んだことだと思います。

利用者様にはこれからも色々な経験をしていただき新しいことにも挑戦してもっともっと学んで成長していただきたいと思います。今度は何処にお出掛けするのが楽しみです。

生活支援員 尾崎由美子

※門入ダムは日中療育活動にて利用させてもらっている場所であり、先日ある利用者様が帽子を水の中に落としてしまいました。諦めていた所、数日後に門入ダム管理事務所職員の方が、回収して保管してとの連絡を頂きました。親切な対応に感謝申し上げます。次の門入ダム訪問時にお礼を兼ねてエコボットをお持ちしました。



## 空港公園散策

令和6年9月25日

9月25日、空港公園へ散策に行きました。9月下旬でありましたが真夏のような暑さにも関わらず利用者様は元気で散策していました。

職員は利用者様の体調を見ながら歩く距離、歩くスペース、休けい、お茶休けい（水分補給）などを心がけました。散策中、利用者様は公園の噴水を嬉しそうに見たり、水を触りに行こうとする様子がありました。職員は利用者様の行動を見てると楽しく嬉しい気持ちでいっぱいです。これからも利用者様と共に散策へ行き思い出をたくさん作っていきましょう。

主任生活支援員 松田 仁美

毎回「今回はバスに乗って行く」という程バスでのお出掛けが楽しみの利用者様。バスから降りると縁石に腰掛けみんなが揃うまで待つことができました。空から轟音が聞こえ飛行機を見つけると「あっ飛行機や」という声でほとんどの利用者様が空を見上げて飛行機が見えなくなるまで見上げていました。途中、自動販売機があり誰か一人は走って自動販売機に行くのかドキドキしましたが利用者様は脇目も振らず職員を先頭に公園を散策しました。散策した後みんなでお茶タイムを楽しみました。

生活支援員 尾崎由美子



## 交通安全街頭キャンペーン

令和6年9月24日(月)



9月24日(月) 広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、県民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図る目的で、毎年県交通県民会議等が秋の全国交通安全運動(9月21日～9月30日)の一端として交通事故ゼロキャンペーンを開催いたしました。県内の全市町の主要交差点と交通量の多い道路に於いて啓発を促しました。



ウインドヒルも4名の利用者様と一緒に香川総合体育館前の空港通り沿道に立ち、「シートベルト着用」などのプラカードを持ち、ドライバーに安全運転してもらうよう呼びかけました。

事務主任 小谷 一良

みんなの広場主催

## わくわくしよう

令和6年7月28日(日)



7月28日(日) 地域交流棟にて「ワクワクしよう」をテーマに特定非営利活動法人 高松市知的障害児者ネットワーク みんなの広場様主催のイベントがございました。

元タカラジェンヌの方の歌とダンスの友情出演あり、

みんなで歌って、みんなで踊ろうを合言葉に色々な団体の方が歌、ダンス、合奏をして交流を深めました。

ウインドヒルの利用者様も一緒に合奏をしました。色々な方と交流を深める事が出来、とても楽しい時間でした。

とても楽しい時間と素晴らしい体験をありがとうございました。



高松南消防署立会

## 避難訓練

令和6年9月11日(水)



9月11日(水) 高松南消防署立会の元、避難訓練を行いました。この日は隣接する山林の日中火災想定で、実践しながら行い、同時に消防への通報訓練も行い、消防署の方と災害状況を説明しながらの訓練でした。毎月防災意識を高めるため、火災・地震により土砂崩れなどの災害を想定し、予告せずに放送を利用していましたが、利用者様は放送に従い、スムーズな避難ができました。

終了後の高松南消防署立会隊員の方からの総評も全員が座って静かに聞いていました。南消防署の方より総評としてより適切な避難訓練が実施できるための助言を頂きました。

①避難誘導が終わったユニット入口にはガムテープなどで印をつけてわかり易くしておく。②通報時には正確な情報を伝える、等課題なども見えてきましたので、頂いた助言を今後の訓練に生かしていきたいと思います。

## 協定福祉避難所体制整備に係る連絡会

令和6年7月31日(水)



令和6年7月31日(水) サンメッセ香川において、「令和6年度 第1回 協定福祉避難所体制整備に係る連絡会」が開催されました。

最初に高松市社会福祉協議会より令和5年度の活動報告、令和6年度の計画(案)の説明があり、その後研修会として「福祉避難所の整備について」の題目で香川県健康福祉部健康福祉総務課の担当者よりお話があり、次にDWAT(香川県災害派遣福祉チーム)の一員として令和6年度能登半島地震災害支援に行ってきた施設の方より、実際に現地で経験したことをお話をいただきました。お話を聞いていて如何に事前の準備、チーム一人一人の連携が大切かがよく分かりました。今年度は実際の施設で福祉避難所の開設・運営訓練を行う予定だそうです。また完成した「高松市 福祉避難所等の開設・運営マニュアル」を頂きました。

災害時の受入の要請があった際には高松市と連携を取りたいと思います。

「虐待防止研修」

令和6年7月1日(月)

香川こだま学園園長 増本 一浩氏

香川こだま学園 園長 増本一浩氏

を講師にお迎えし、虐待防止研修をしていただきました。「障害者虐待について」基本的な考えを学び直しました。改めて障害者虐待とはどのような事か、施設従事者による虐待はどのようなことが起こり得るか。虐待と不適切な関わりとのグレーゾーンの認識、未然に防ぐには普段からどのような取り組みが必要か、万が一虐待と疑われる事案が発生した場合には、どのように対処しなくてはならないか等を復習しました。また障害者虐待防止法の概要について「目的」「定義」を改めて読み返し、第一章 第三条「何人とも、障害者に対し、虐待をしてはならない。」の言葉を心に刻み利用者様と関わらなくてはならないと改めて考えさせられました。

「新型コロナウイルス感染症に関する基礎知識」

令和6年9月9日

「新型コロナウイルス感染症に関する基礎知識」

医療法人社団駿陽花 しもむら歯科医院 院長 下村 隼人氏  
歯科衛生士 谷本 早紀氏

医療法人社団駿陽花 しもむら歯科医院 院長 下村 隼人先生、歯科衛生士 谷本 早紀氏をお迎えし、新型コロナウイルス感染症について基礎知識を学びました。第5類に分類され、社会生活もコロナ禍前に完全に戻っておりますが、コロナに関しては未だによくわかっていない事が多く、重症化したり後遺症もあります。また罹患することによって、就業する事にも影響が出てくるし、他者に移すことも考えられるため、感染防止対策は続行しなくてはなりません。まだまだマスクを外せない状況ではありますが、施設内の感染拡大防止に努めていきたいと思っております。



職員研修

「人財育成」(人材育成)

令和6年8月5日(月)

サービス管理責任者、主任が中心となり「人財育成」(人材育成)につい

での研修を行いました。

今回の研修の目的は日常の支援の中でも時に拘りの強い方、問題行動がある方等の事例を踏まえて研修、また支援中に困った事、対応できなかったこと等様々な場面に遭遇した際の適切な対応について研修しました。利用者様と直接関わっての情報共有をするとともに、利用者様それぞれの障害特性の把握、先輩支援員からのアドバイスによりスキルアップを目指しました。上司からの指導等、様々な方から得た情報を基に利用者様の関わり、支援力をスキルアップが出来ると思います。職員が共通の認識を持ち、「利用者様の為に」を一番に行動していかなくてはならないと身を引き締めました。

「療育とは」～子供とともに楽しむ喜怒哀楽の関わり～

令和6年10月7日

管理者 松原 正子

今回の研修は自閉症とは何か？成長する過程の中でどのような人と出会い、どのような刺激を受け、どのように学んでいくかを管理者自身の経験を元に話してくれました。ウインドヒルの支援の基礎となっているのが、「トモニ療育センター 河島淳子先生の療育」です。

河島先生の療育は、譲れない所は決して譲らない、厳しい中にも愛情をもって接し、利用者様本人が一つでも出来る事を獲得でき、引き出しを増やしていくことです。社会性を身につけるために法人の理念の下、正しく関わり誰からも愛される人に成長して欲しい。そんな願いで日々利用者様の支援をしています。今回の管理者の話聞いて河島先生にはまたウインドヒルに来て講演していただきたいと思いました。

\*幼少期に河島先生の療育を受けた愛媛県新居浜市在住の自閉症の画家 石村嘉成氏の自伝的映画「新居浜ひかり物語 青いライオン」が10月18日新居浜市で先行公開し、その後順次全国公開の予定です。高松ホールソレイユ(4F)11/8(金)～11/21(木)興味ある方は是非。

お知らせ

「高松市主催 デリバリーアーツ2024」の協力団体募集に応募し、下記の日程で開催されることが決定しました。文化や芸術を身近に感じれる機会ですので、皆さまお誘いの上、是非足をお運びください。

**讃岐国分寺太鼓**  
和心響感

高松市国分寺町から発得する音をテーマに活動している讃岐国分寺太鼓保存会のダイナミックな“和の響き”をぜひご家族・ご友人と共にお楽しみください。

2024年 **11月27日(水)**

時間：13：30開演/13：00開場  
場所：障害者支援施設ウインドヒル

高松市三谷町3851番地  
TEL 087-888-4277

～讃岐国分寺太鼓保存会～

サンポートホール高松  
公益財団法人高松市文化芸術財団 事業部  
TEL 087-825-5010  
受付時間/平日9：00～18：00

アスパラ収穫



昨年2月に所有しているビニールハウスにアスパラガスを植え付けする為、4月に1年物と2年物の苗を購入して、植えました。よい土作りがとても重要になる為に、三谷町の三好様に助言を頂き、利用者様と一緒に石ころ拾いなど整備し、客土による盛り土や土地改良資材などを入れ、アスパラガスに適したほ場作りを丁寧に現場で教わり植付けました。植付け後は利用者様と一緒に水やり、草抜きをし、大切に育ててきました。そして今年約1年かけて、ウインドヒル産のアスパラガスが収穫できるようになりました。2年物の苗からはお店で買うより立派な物が獲れ、1年物からは細身のすらっとした物が獲れました。収穫したアスパラガスは仏生山コミュニティに販売の為、置かせてもらいました。出荷時には、太い物と細いものを混ぜ全体のバランスを考えて納品しました。すぐに売り切れになるほど好評との話を聞きました。来年は2年物、3年物になる為、今年より立派なアスパラガスの収穫が期待できそうです。

# 資金収支計算書

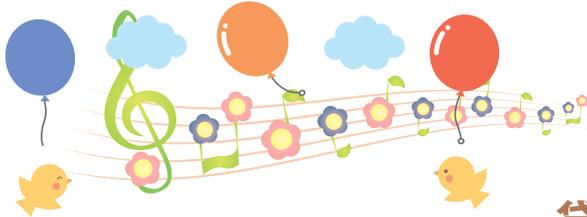
(自) 令和5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月31日  
(単位:円)

第1号の1様式

勘定科目		決算	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	1,730,155
		障害福祉サービス等事業収入	178,031,857
		経常経費寄附金収入	120,000
		受取利息配当金収入	5,047
		その他の収入	1,767,701
	事業活動収入計(1)		181,654,760
	支出	人件費支出	107,698,324
		事業費支出	16,845,682
		事務費支出	33,845,005
		就労支援事業支出	1,794,424
事業活動支出計(2)		160,183,435	
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)		21,471,325	

勘定科目		決算	
施設整備等による収支	収入	施設	-
		施設整備等収入計(4)	
	支出	固定資産取得支出	1,6289,245
		施設整備等支出計(5)	1,6289,245
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)		-1,6289,245	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1749,105
		その他の活動収入計(7)	1749,105
	支出	積立資産支出	498,618
		その他の活動支出計(8)	498,618
	その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)		1,250,487
予備費支出(10)		-	
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)		6,432,567	

前期末支払資金残高(12)	349,319,009
当期末支払資金残高(11) + (12)	355,751,576



# 貸借対照表

令和 6年 3月31日現在  
(単位:円)

第3号の1様式

資産の部				当年度末
科目				
流動資産	368,983,903			
現金預金	342,268,497			
事業未収金	25,444,717			
貯蔵品	1,070,689			
立前金	200,000			
固定資産	685,869,588			
基本財産	609,633,869			
土地	166,462,258			
建物	443,171,611			
その他の固定資産	76,235,719			
建物	11,560,754			
構築物	37,297,14			
機械及び装置	18,253,575			
車両運搬具	1,609,799			
器具及び備品	4,553,249			
権利	46,000			
退職給付引当資産	2,915,196			
資産の部合計	1,054,853,491			

負債の部				当年度末
科目				
流動負債	18,781,327			
事業未払金	12,925,906			
職員預り金	306,421			
賞与引当金	5,549,000			
固定負債	2,915,196			
退職給付引当金	2,915,196			
負債の部合計	21,696,523			

純資産の部		当年度末
基本金	220,460,000	
基本金	220,460,000	
国庫補助金等特別積立金	135,034,468	
国庫補助金等特別積立金	135,034,468	
次期繰越活動増減差額	677,662,500	
次期繰越活動増減差額	677,662,500	
(うち当期活動増減差額)	-3,175,226	
純資産の部合計	1,033,156,968	
負債及び純資産の部合計	1,054,853,491	

# 事業活動収支計算書

(自) 令和5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月31日  
(単位:円)

第2号の1様式

勘定科目		決算	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	1,730,155
		障害福祉サービス等事業収益	178,031,857
		経常経費寄附金収入	120,000
		サービス活動収益計(1)	179,882,012
		人件費	106,291,837
	費用	事業費	16,845,682
		事務費	33,845,005
		就労支援事業費用	1,764,424
		減価償却費	32,904,091
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-6,851,059
サービス活動費用計(2)		184,829,980	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)		-4,947,968	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	5,047
		その他のサービス活動外収益	1,767,701
	サービス活動外収益計(4)		1,772,748
	費用	その他のサービス活動外費用	
		サービス活動外費用計(5)	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)		1,772,748	
経常増減差額(7) = (3) + (6)		-3,175,220	

勘定科目		決算	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	
		固定資産売却益	
		特別収益計(8)	
	費用	固定資産売却損・処分損	6
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除)	
特別費用計(9)		6	
特別増減差額(10) = (8) - (9)		-6	
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)		-3,175,226	
前期繰越活動増減差額(12)		680,837,726	
当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)		677,662,500	
繰越活動増減差額の部	基本金取崩額(14)		
	基本金取崩額(15)		
	その他の積立金取崩額(16)		
	その他の積立金積立額(17)		
	次期繰越活動増減差額(18) = (13) + (14) + (15) + (16) - (17)		677,662,500

## 寄 付



### 三和電業株式会社 高松支店 社員一同様より 8月21日(水)

毎年、職員1人1人善意の気持ちを結集して寄付を頂きました。また当日は社員2名の方がウインドヒル迄お越しいただきました。ありがとうございました。



### 「恩師からの寄付紹介とお礼」

管理者、松原の恩師の方から、法人に対しまして、下記のようなありがたいお手紙を頂きました。

『お元気で活躍のご様子、機関紙ポム・ド・パンで拝見し、陰ながらうれしく思っています。(中略)ホムドパンを応援したく、まとまった金額を寄付したいと思っています。(中略)些少ですが私の気持ちを受けて頂けることを願っています。』  
(ご本人からの手紙原文)

このようなお手紙を頂き、感謝と感激の言葉しかありませんでした。恩師は、現在、『一人暮らしの生活、週に4回ほどソフトバレーに汗を流しています。』とのコメントもあり、やはり若いころにクラブ活動を指導して下さい、私たちの持久力強化の為に、7.3km、または5.3kmのコースと一緒に走ってくださった体力と強靭な身体が、今も継続されていることをうれしく思います。

この度のご寄付は、施設利用者の為、施設環境整備に活用させていただきます。

恩師の思いを受け継ぎ、私たちの活動がより一層充実したものとなるよう努力してまいります。今後も、恩師の教えを胸に、地域や社会に貢献できるよう邁進してまいります。

皆さまの温かいご支援が私たちの力となります。今後とも変わらず、応援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



### 使用済切手寄贈

2014年より定期的に使用済の切手を関係者様より協力頂き、収集しております。

今回は「有限会社 高島産業様」、「さぬき市寒川町 真嶋様」、「高松市林町山本様」はじめ沢山の方からのご寄付を頂きありがとうございます。ポレボレクラブを通じ植林活動支援の為に寄贈させていただきますので、今後とも宜しくお願い致します。

会報を読まれた方、今後ともこの収集活動にご協力くださいます様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員

敬称略・順不同

### ●令和6年度後援会加入者(7月1日以降)

高重 裕子 高橋 伴子 森 里子 多田 修 鏡 直子 堀 貝王

令和5年7月1日～令和6年6月30日現在、以上の方々に継続及び新規にご入会して頂きました。

令和6年6月30日以降にご入会の方は、次回の会報にお名前を掲載させていただきます。本当にありがとうございます。

## 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」をサポートしています。今後長年にわたり、利用者一人ひとりを大切にしたい理想的な療育を行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、より多くの方々のご支援を必要としております。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいますようお願い申し上げます。

なお、すでに会員の方には毎年年度初め4月1日付で継続お願いのご案内と振込用紙を送付しております。よろしくお願いいたします。

[年会費] 個人会員 一口3,000円 団体会員 一口10,000円

[ご入金方法] 郵便振替 口座番号 01690-3-74305 口座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

## あたたかいご支援、本当にありがとうございました



社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページです。当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り組みなどを随時更新していますので、是非ご覧ください。スマートホンでは、右のQRコードから読み取れます。  
アドレス：<http://www.pomme-de-pin.or.jp/>



社会福祉法人ポム・ド・パン

## 編集後記

編集担当の私は福祉の仕事は全く初めてで右も左も何も分からなく、入職してから初めて知る事ばかりで戸惑いの日々でした。3年経った今でもまだこれでいいのかと思うことや、次に何をしなければいけないのかという事がいっぱいあり、日々勉強しないとイケません。福祉の仕事は利用者様の安心・安全な生活を提供するために、日々利用者様と喜怒哀楽を共にし、職員も一緒に成長していけるように一日一日大切に過ごしていかなければならないと感じています。私もそういう思いで一人の職員として利用者様と関わっていきたく思います。



松ほっくりのポムです。



松ほっくりのパンです。